



# ご利用にあたって

- 「安全情報」は医療・福祉関係の方に向けて発信したものです。一般の方に向けた内容ではございませんのでご注意ください。
- 内容は、いずれも発行日時点のものです。常に最新の情報をご確認ください。



## 人工呼吸器のコンセント、コードなどの一斉点検について

8月2日に発生した宮城県の長町病院における「人工呼吸器の電源トラブルによると思われる医療事故報告」についてはすでにマスコミなどの報道で、ご存知のことと思います。8月24日の第3回評議員会では医療事故について「**必要な事は、決して他人事とせず、自らの事業所に引き寄せ、自己分析と点検を真剣に行なうことです。**」と述べて、同様の事例は全国どこでも起こりうるとの視点からの自己分析と点検を真剣に行なうことの必要性を述べています。

既に全国の事業所で一斉に人工呼吸器のコンセント、コードなどの点検が行なわれていることと思われますが、まだ点検を行っていない事業所は直ちに全ての人工呼吸器のコンセント、コードなどについての点検を行なうように訴えます。

(1) 既に、人工呼吸器の電源をめぐる問題については平成12年12月28日に当時の厚生省から「**生命維持装置である人工呼吸器に関する事故防止対策(案)について**」のなかでも詳細に述べられています。

この厚生労働省の基準に沿って点検をお願いします。(さらに、資料の必要な方は、医療安全委員会事務局に問い合わせのこと)

(2) また、東京都の「医療機器安全性情報ネットワーク」の平成15年8月版

(<http://www.kenkou.metro.tokyo.jp/yakuji/antai/yougu/usernotes.html>)でも「チェック!人工呼吸器」のなかで回路・アラーム・モニターの確認・緊急時の確認が述べられ、「アラームが鳴った原因を見つけ出し、原因を取り除いてください」として消音スイッチをおしただけでは、原因を排除したことにならない事を強調しています。また、「人工呼吸器のコンセントは非常用電源(赤色の3Pコンセント)に差し込んでおくことも大切です。」と緊急時の確認が指摘されています。

(3) 更に、日本医療機能評価機構の「患者安全推進ジャーナル」

(<http://jcqhc.or.jp/html/psp/indexpspc.html>)

Vol.2の「提案事例2」では、「人工呼吸器用延長コード(コンセント)の改善」として、具体的な事故事例(警鐘の事例)から教訓を導き出し、以下のような提案をしています。

1. 人工呼吸器などの重要機器がある場合は、看護師が清掃後点検を確実にしなう。  
(この事例は、清掃業者が掃除機をかけているときに誤ってコンセントを引っ掛けてはズレた可能性があるとしている。)
2. コンセントを引っ張っても抜けないシステムに改善する。(アングルタイプのプラグ

とロック付きソケットを人工呼吸器専用)

- 3．専用延長コード使用の徹底通知を各病棟に対し通達する。
- 4．人工呼吸器使用中の点検で専用コード使用の確認、非常電源接続の確認を追加して管理する。

以上のように、つい最近でもこの問題に対しては、全国的に警鐘がなされています。改めて、表記の一斉点検をお願いします。そして、点検の中で、浮かび上がった問題点や業者交渉などなどについて全日本民医連への集中をお願いします。